

令和3年度 第1回木更津市文化財保護審議会 審議録

1. 会 議 名 令和3年度 第1回木更津市文化財保護審議会
2. 開催日時 令和3年8月17日（火）～8月31日（火）
3. 開催方法 書面審議
4. 出 席 者 文化財保護審議会委員 5名
古泉忠之（会長）、高崎芳美（副会長）、笹生 衛、御巫由紀、黒田加奈子
5. 審議事項
第1号 木更津市指定文化財の新指定候補の選定について
6. 報告事項
第1号 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」石室羨道部石積の補修工事について
第2号 木更津市指定文化財「貝渕木更津県史蹟」の補修について
第3号 登録文化財「下郡郵便局旧局舎」の補修について

審議結果報告

審議事項

第1号 木更津市指定文化財の新指定候補の選定について

「中越遺跡出土小銅鐸」を市指定文化財の新指定候補とすることについて、ご審議いただき、了承されました。

委員からのご意見

（概ねいただいた表記どおりに掲載しておりますが、一部内容をまとめさせていただいた部分があります。ご了承ください。）

古泉委員：小銅鐸はこれまで県内で7点が出土し、いずれも県や市の文化財に指定されていますので市指定文化財の新指定候補とすることは適切です。

小銅鐸が発掘終了後に県の帰属となり、その後に市へ譲与されたわけですが、県指定の展開はなかったのか。経緯がわかれば教えて下さい。

銅鐸の表面に絵は無いようですが、確認はできなかったのですか。ほかの小銅鐸については、それらしきものは、あったのでしょうか

黒田委員：市指定文化財の新指定候補とするに問題はありません。小銅鐸の内部より見いだされた礫についても、舌としての使用方法を示唆する貴重な情報を付帯していると言えるでしょうから、小銅鐸と礫とをセットで指定することが重要だと思います。展示や新指定の周知活動の際には、小銅鐸の使い方や機能等を含めた研究成果を示してほしいと思います。

高崎委員：市指定文化財の新指定候補とすることには、問題はありません。

笹生委員：新指定候補として適当と考えます。

事務局説明：小銅鐸は県内各地での発掘調査にもかかわらず、これまで7点の出土にとどまり、この

うち出土時期の古い4点が県指定、その後に出土した2点が市の指定となっております。今回、新指定候補としました「中越遺跡出土小銅鐸」は、令和2年1月21日付で、本市へ譲与されたものですが、それ以前に県指定へという展開はありませんでした。

小銅鐸の表面には、大形の銅鐸に見られる絵画などはありませんが、市原市川焼台遺跡出土のものには、綾杉文様が見られます。

小銅鐸は、郷土博物館 金のすずで、展示されております。ご意見の内容を博物館に伝え検討いたします。

報告事項

第1号 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」石室羨道部石積の補修工事について

古泉委員：墳丘境界フェンスの設置工事は、両脇の民家の状況からも急務と思います。石積補修工事にとどまらず、木の切株や植え込みなどの処理、整備も必要です。経費はかかりますが、県指定史跡に相応しい美観と耐久性を備えたものになれば良いのですが。

黒田委員：考古学的な遺構の在り方を正しく理解していないゆえの違和感かもしれませんが、長年遺構の周辺で生活を送ってきた人々にとって、遺構の外観の大胆な変更がどのように受けとめられているのか気になりました。発掘した時点ですでに当初の姿はなく、遺構そのものの記録保存はしっかりと行われており、遺構の外観はあくまで調査の記念物であり、学術的価値はそれほどないのかもしれませんが、遺構には長い間それを残し、継承してきた人々の努力の痕跡や共に過ごしてきた景観の記憶が伴います。それゆえ、経年した遺構には製作時の意図とは別の歴史的価値が伴うものであり、修復の際には、なるべくそれを取り除かない努力が必要であるとイタリアの修復理論の中では提唱されたりもします。少なくとも数十年同一の外観を受け入れてきた、周辺住民の方々に違和感が残らなかった事を願います。

笹生委員：適切な対応と考えます。

事務局説明：墳丘上の植栽の整備を行い、現在では以前に比べてすっきりとした外観となっております。地域の方々には、工事の予定、方法についてご説明し、ご理解をいただきました。多くの方々が、金鈴塚古墳への愛着を感じておられ、古墳がきれいになることについては、良い印象を持っていたいただくと感じております。

第2号 木更津市指定文化財「貝渚木更津県史蹟」の補修について

各委員からの指摘事項等は、ありませんでした。

第3号 登録文化財「下郡郵便局旧局舎」の補修について

古泉委員：富岡公民館の入口に周辺地図、旧局舎の近くに案内板や表示板の設置ができれば、周知に役立つと思います。

事務局説明：ご意見の内容を踏まえ、検討いたします。

上記、第1回木更津市文化財保護審議会の書面による審議について、確認したことを報告します。

令和3年9月16日

審議録署名人 木更津市文化財保護審議会

会 長 古 泉 忠 之 印